

第二回役員会（第24期第21回） 議事要旨

1. 日時 令和2年5月28日（木） 11:00～12:00
2. 形式 ビデオ会議
3. 出席者 石川部長、平井副部長、武田幹事、丹下幹事
4. 議題と議事内容

1) 大規模感染症分科会：提言案について。

本日午後の幹事会で審議予定。

公表日に会長主催のオンライン記者会見をやる予定。英訳した要旨も同日HPに公表し、後日提言全体を英訳したものを公開する。

武内副会長からフォーリンプレス・プレスセンターでの記者会見を提案されている。本役員会としては、日本学術会議のプレゼンスを示すチャンスであることから、立ち位置を明確にした上で、記者会見を行うのが良いとする結論となった。本件は本日午後の幹事会懇談会で議論される。

2) 提言案「子ども・妊婦への受動喫煙対策と禁煙支援をさらに充実させるべきである」への対応について。

幹事会で審議済みであるが、改訂版に対する厳しいコメントが幹事会で出されており、本日の幹事会懇談会でその扱いが議論される。

二部としての対応を協議した結果、分科会へは以下の3つの点を取り入れた再改訂を求めた上で（2週間以内で）、その再改訂版を再度審議してもらうことを幹事会へ提案することとした。

- ・これまでの日学から受動喫煙について過去の提言が出ている。これらとの関係を提言で説明する。
- ・提言の緊急性、必要性についてクリアに説明する。特に健康増進法が改正されても、家庭内での受動喫煙の問題が取り残されていることが問題で、それに対する提言であることを強調する。
- ・引用データの精査と最新版へのアップデートを行う。

3) 選考委員会枠連携会員推薦について。

二部の連携会員候補が決まり、午後開催の選考委員会で審議される。

選考委員会枠連携会員について、各部から25人の推薦を求められている。分野横断、若手、女性が特に求められている。

資料3の手順に従って役員は6～7人の適任者を6月1日(月)正午〆切で部長へ推薦する。新規候補者の推薦も現時点でも可と考えるが、資格の精査、書類の準備に時間がかかるので早めに決める必要がある。

その他

学術会議予算の執行状況が本日の幹事会懇談会で議論される予定。二部の会員手当の執行率が低い。これは二部の活動が不活発なためではないと考えられる（委員手当は妥当な使用率、提出予定の提言も他の部には劣らない）が、今後注意深く見ていく必要がある。